

TPP交渉参加国首脳声明及び貿易閣僚による首脳への報告書（概要）

平成24年9月9日
外務省

9月9日、ウラジオストクにおいて、TPP交渉参加9カ国（米国、豪州、ブルネイ、チリ、マレーシア、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、ベトナム）は、首脳声明及び貿易閣僚による首脳への報告書を発表したところ、概要は以下のとおり。

1 首脳声明

- (1) 我々は、2011年11月にホノルルで行った、貿易と投資を自由化及び促進し、新旧の貿易問題や21世紀型の課題に対応する、包括的で次世代型の地域協定をつくるという我々の約束を再確認した。我々は、ホノルルでの会合後に交渉担当者が得た重要な(significant)進展に基づき、この目標が手の届くところにあることを確信している。
- (2) 我々は、交渉を早期に妥結するための我々の努力を新たにすることに合意する。我々は、多様な我々の国とのバランスを適切にとる方法で交渉することの課題も認識しており、交渉チームに対し、交渉中の残る問題について、实际的で、創造的で、柔軟で、相互に受け入れ可能な解決策を早急に見出すように指示した。
- (3) 我々は、メキシコ及びカナダとの数か月の詳細な協議を経て、両国が、交渉妥結に向けた進展を遅らせることなく、我々がTPPで達成することを追及している高いレベルの野心を約束していることを確認した。これを受けて、我々は、メキシコ及びカナダを新たなTPPのパートナーとして歓迎する。我々は、交渉チームに対し、TPP参加に関心を表明した他のアジア太平洋のパートナーの将来的な参加を促進するため、これらのパートナーとの対話を継続するよう指示した。

2 閣僚報告書

- (1) 我々は、首脳が昨年11月に承認した「TPPの輪郭」に基づき、協定の完成に向けて心強い(encouraging)進展を得た。これまで行われた会合では、幅広い分野での我々の間の差異を相当に(significantly)狭め、交渉の進展がより遅い他の分野での作業は継続しているところである。29の章のうち多くで重要な(significant)進展を得て、我々は、これまで我々が達成したモメンタムを高め、年内に可能な限り多くの章をまとめる決意である。
- (2) 我々は、この歴史的な協定の5つの特徴（包括的な市場アクセス、地域全域にまたがる協定、分野横断的な貿易課題、新たな貿易課題、「生きている」協定）のそれぞれの実現に向けた進展を喜ばしく思う。
- (3) 現在、我々は、慎重な検討及び緻密な協議が必要な、複雑で、新しく、センシティブな分野を含む、残る問題に取り組んでいる。我々は、本交渉を可能な限り早く成功裏に妥結することができるよう、こうした取り組みを続けるとともに、メキシコ及びカナダを効率的に交渉に含めることに必要な資源を投入することを継続する。

(了)